

# 南小国町老人クラブ連合会

## グラウンドゴルフ大会を開催しました

10月6日、心地よく爽やかな秋の風を感じる中、山村広場でグラウンドゴルフ大会を開催し、南小国町老人クラブ連合会会員60名が参加しました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった活動もありますが、グラウンドゴルフは屋外での活動でもあり、高齢者の健康作りや会員同士のふれあい交流を目的として、体温測定・手指消毒などのコロナウイルス感染拡大防止に努めての開催となりました。

今回初めてグラウンドゴルフをプレーする会員の方もいましたが、15分間の練習時間の確保や、経験者が教えるなど皆が楽しめる工夫がされていました。

当日は、天気も良く日差しが強かったため、参加者の体調が心配されましたが、参加された方々の笑顔が見られ、大盛況のうちに大会が終了しました。

また、グラウンドゴルフ協会の方たちには、準備・集計などご協力いただきありがとうございました。



## 高齢者ミニデイサービス(赤い羽根共同募金事業)

地域の集会所や公民館等の身近な場所を利用して、やまびこカップ(スポーツ交流)、認知症サポーター養成講座(スキルアップ講座・見守り模擬訓練等)、健康の維持・向上、救急法、交通安全、悪質商法に遭わないための講座、レクリエーション、お茶会など地域の高齢者の健康維持増進を図ることを目的に、町内の老人クラブやサロンと連携して実施をしています。

コロナウイルス感染拡大防止のため、中止をされているクラブ等もありますが、感染防止に努め開催をしていますので、開催を希望されるクラブ等がありましたら、下記までご連絡をお願いします。

内容については、適宜ご連絡をとりながら決めたいと思います。

皆様のご参加おまちしています!



中中原老人会  
やまびこカップ(ジエンガ)

お問い合わせ・ご連絡先 南小国町社会福祉協議会(地域福祉センターりんどろ荘)  
TEL: 42-1501 専用電話: 090-4517-5820



社協便り りんどろNO 80

編集・発行: 南小国町社会福祉協議会  
お問い合わせ先: 0967-42-1501



南小国町社協  
ホームページ

## きよらの郷でやさしさを 広げるために



10月4日・5日、市原小学校で『新型コロナウイルスから考える福祉学習会』を開催しました。

昨年に引きつづき新型コロナウイルスの3つの顔(病気・不安・差別)について理解をし、この3つの顔を新しい顔(健康・安心・共生)に転換していくために必要な『思いやり・みんな仲良くなる・支えあい』について学習を行いました。

今年度は、昨年の振り返りを行い、グループワークで意見交換をするなど、みんなが健康で安心して過ごせる学校にすることについて考えました。

今回の学習を通して、新型コロナウイルスについて正しく理解をし、相手を思いやる気持ちを育むことができたようです。



## 児童たちの感想

- お友達のことを笑顔にしたい
- 感染予防の大切さがわかった
- もし、友達がコロナになったらやさしく『大丈夫』と声をかけたい。
- 差別をしないようにしたい



## 『今回の学習内容』

- ・災害ボランティア基礎学習
- ・土のう作り体験



## 学習と体験を通して災害ボランティアセンターについて学ぼう

10月28日、小国高校で災害ボランティア活動についての基礎的な知識を学ぶワークショップを開催しました。

また、当日は災害ボランティア活動や、留学生との交流など様々なボランティア活動に取り組まれている、小国町のスーパーボランティア『大塚秀一さん』にも参加していただき、ボランティアを始めたきっかけ、ボランティアの楽しさなどを高校生へ伝えていただきました。

初めに基礎学習として、ボランティアの役割・活動内容などを学び、その後、実際の災害ボランティアセンターで行われる、受付・オリエンテーション・マッチング・グルーピングなどの一連の流れを体験し、資材を使用しての土のう作りを行いました。

『土のうスタンドがあれば一人でできる』『あまり土を入れすぎない』など説明を受けながら、最初はぎこちない様子で土のう袋に土を入れていましたが、慣れてくると次々と土のうを完成させていました。

紐の結び方で苦戦をしていましたが、大塚さんは高校生が理解するまで丁寧に教えていただいたため、皆さん上手に結ぶことができるようになりました。



## ～生徒たちの感想～

○実際の流れで体験できて良かったです。また、災害ボランティアセンターなどの自分の知らないことを知ることができ、良い体験になりました。

○昨年もボランティア学習に参加しましたが、今年も参加できて良かったです。災害ボランティアセンターへもボランティアとして活動したいと思いました。

当日の様子は QR コードから Youtube で閲覧することができます



## SDGs ボランティア活動 多様性を認め合う社会を目指して 清掃美化活動



11月14日(日)早朝8時30分に、小国高校生、立命館アジア太平洋大学の留学生、サポートセンター悠愛の利用者など18名のボランティアが小国町のけやき広場に集いました。

小国高校生だけで清掃活動して終わるのではなく、障がいのある方の社会参加、外国人との交流など【多様性を認めよう社会をめざした】取り組みとして初めて開催しました。

当日は、下城方面・黒淵方面の歩道や道路わきに落ちている資源ゴミを拾う活動と【まちづくり】の一環でプランターに花を植え、「薬味野菜」「ゆうステーション」に設置する活動を行い、私たちの住む地球を美しくすることができました。

参加者は、お互いに緊張気味でしたが、2人一組でのペア活動を通して少しずつ打ち解け合い親交を深めていました。小国高校生にとっても積極的に英語でコミュニケーションをとるなど普段できない良い経験となっていたようです。

多様性が高まることによって、人や価値観の新たなコラボレーションが生まれ、新しい発想やイノベーション(変革)のきっかけになることを期待し継続して取り組んでいきます。

今回の開催を支えていただいた、大塚秀一様、留学生のホームステイを受け入れていただいたホストファミリーの皆様ご協力ありがとうございました。

## ～生徒たちの感想～

○コミュニケーションをとるのが苦手ですが、今回のように年齢層が違う方たちと小国町のことや、自分のことについてたくさん話すことができ良かったです。

○留学生の方たちと町内のゴミ拾いや花植えができたのでとても良い経験になりました。

○とても楽しいボランティア活動だった。外国の方たちと話が出来たので良かったです。

当日の様子は QR コードから Youtube で閲覧することができます

